

※凡例  
【評価】  
◎ 予定以上に進んでいる  
○ 予定通りに進んでいる  
△ 予定通りに進んでいない

施策	個別施策名	項番	指標	目標値 (2023年度)	達成状況 (2021年度末)	2021年度			総括(2021年度の評価の要因及び2022年度以降の課題)	
						達成目標	市の事業費 (千円)	取り組み内容		
1 「立ち上げる」チャレンジ	(1) 起業・創業の魅力を伝える	① 幅広い世代に向けた起業・創業の魅力発信【拡充】	(1) セミナーの実施回数	3回/年	9回/年	3回/年	1,380	まちだキッズアントレプレナープログラム AI教室 2回 マネー教室 2回 発明体験教室 1回 起業塾 1回 まちだ未来ビジネスプランコンテスト 1回 高校生向けセミナー 1回 町田キッズ発明体験教室 1回	◎	「まちだキッズアントレプレナープログラム」は応募者が多かったため、開催回数を増やして対応しました。一部の講座ではオンラインに切り替えましたが、オンラインでは期待する効果を得ることが難しい内容もあったため、内容や開催方法の検討が必要です。また、学校との連携事業については、学校ごとに温度差があるため、個別にアプローチをすることで、関係強化を図ります。
			(1) 創業スクールの参加者数	250名(累計)	212名/年 349名(累計)	150名(累計)	0	まちだ創業スクール2021を通学およびオンラインで実施 プレセミナー(8/21) 定員:30名(通学)、オンラインは定員無し 本格コース(9/4、11、25) 定員:30名(通学) 副業コース(10/5、12、19、26、11/2、9) 定員:100名(オンライン)	◎	「副業コース」の人气が高く、時代の傾向を掴み取ることができました。今後もニーズにあった講座内容を設定し、創業希望者の知識習得を支援します。
			(2) 女性向けセミナーの参加者数	100名(累計)	15名/年 63名(累計)	60名(累計)	0	まちだ女性創業スクール(10~11月) 定員:15名(オンライン) まちだ女性プチ起業スクール(9月) 定員:15名(オンライン)	○	2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、9月に予定していた「まちだプチ起業セミナー」は中止となりました。セミナーの内容について、受講者がニーズに応じて参加できるように、カリキュラムを検討する必要があります。
	(2) 想いを形にするためのサポート	① 起業・創業の実現に向けたニーズに沿った支援【継続】	(1) 「起業家カード」の発行枚数	700枚(累計)	226枚/年 630枚(累計)	420枚(累計)	1,360	町田新産業創造センター 116枚(10月からファーストステップセミナーを動画コンテンツ化、起業家カード電子版の発行を開始) 町田商工会議所 110枚	◎	起業家カード発行条件となるセミナーが日中開催のため、対象者が限定されてしまう課題があったことから、町田新産業創造センターでは、上半期は前年度と同様にオンライン開催としましたが、下半期より幅広い創業者の確保を目的として、365日24時間視聴可能な動画コンテンツ化を図ることにより利便性を高めました。引き続き、創業者数の増加に向け、創業関連セミナーの受講者をさらに増やすよう取り組みます。
			(2) 町田商工会議所、町田新産業創造センターにおける創業相談件数	2,500件(累計)	691件/年 1539件(累計)	1,500件(累計)	1,950	町田新産業創造センター 497件 町田商工会議所 194件	○	従来は対面型での相談が中心でしたが、相談者のニーズに合わせてオンラインで相談も受け付けるなど対応強化を図りました。また、「町田創業プロジェクト」の周知不足の課題もあったことから、SNS等での情報発信により周知徹底を図るとともに、次年度の更なる周知徹底に向けてポスター・リーフレットのリニューアルにも取り組みました。
		② 起業・創業支援の担い手の拡充【拡充】(★)	(1) 民間の創業支援機関同士が連携した事業件数	2件/年	2件/年	2件/年	0	市内2か所の創業支援機関が連携して、「まちだ未来ビジネスアイデアコンテスト2021」を開催 プラン募集開始(8/15) 最終審査会(2/19) BUSO AGORA主催「武相イノベーションアワー」で町田新産業創造センター職員が講演	○	ビジネスアイデアコンテストは市内を中心に6社からテーマ提供を受け、大学生・社会人134名から、77件の応募がありました。また、民間創業支援機関主催セミナーに、町田新産業創造センターのインキュベーションマネージャーが講師として参加するなど、交流がありました。引き続き、創業支援機関同士の連携強化を進めていきます。
			(2) 創業支援施設の立地件数	2件(累計)	1件(累計)	1件(累計)	0	中心市街地活性化奨励制度のパンフレットを配布し、周知	○	2021年度は、新たな創業支援施設の立地はありませんでした。引き続き、市ホームページやパンフレットにより、創業支援施設等の立地奨励制度の周知を行います。
	(3) 起業・創業後の事業拡大を後押し	① 起業・創業初期の経営支援【拡充】(★)	(1) マッチングイベントの実施回数	2件/年	1件/年	2件/年	0	まちだ創業プロジェクトの交流会は中止 ビジコン交流会(2月)	△	2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、交流会は対面による開催が望ましいと判断したため、オンラインでの交流会を実施し、65名が参加しました。引き続き、ウィズコロナでの交流会の開催方法を検討していきます。
			(2) アフターフォロー体制の構築	支援体制構築及び実施	実施	実施	0	創業後の事業継続支援など、アフターフォローを実施 また、SNSを活用して事業者同士の情報交換やマッチングの場を提供	○	町田新産業創造センターでは、Facebookを利用した情報交換を行っています。創業後の事業継続支援をさらに強化する必要があります。
		② 起業・創業後の事業拡大に向けた資金調達の支援【拡充】	(1) クラウドファンディングの支援件数	10件(累計)	1件/年 8件(累計)	6件(累計)	0	町田新産業創造センターの支援により、1件実行 クラウドファンディングに関するセミナーを実施(10/27)	◎	相談件数に減少傾向が見られたことから、クラウドファンディング普及啓発のためオンラインセミナーを実施、24名が参加しました。引き続き、セミナー等を継続的に開催し、普及啓発や、町田新産業創造センターによる支援の周知徹底を図ることで支援件数の増加につなげます。
	(2) 市の融資制度において創業支援特例を受けた件数		20件/年	43件/年	20件/年	130,000	町田商工会議所や町田新産業創造センター等の関係団体と連携し、セミナー等で周知	◎	創業資金の利用件数は年々増加していますが、「町田創業プロジェクト」の創業支援特例を利用した方は、創業資金全体の5割程度となっており、2020年度の2割程度の利用から、利用が拡大しています。今後は更なる「町田創業プロジェクト」による特例制度の周知を強化する必要があります。	

※凡例  
【評価】  
◎予定以上に進んでいる  
○予定通りに進んでいる  
△予定通りに進んでいない

施策	個別施策名	項番	指標	目標値 (2023年度)	達成状況 (2021年度末)	2021年度			総括(2021年度の評価の要因及び2022年度以降の課題)	
						達成目標	市の事業費 (千円)	取り組み内容		
2 「拡げる」 「チャレンジ」	①産業財産権に関する啓発・取得の支援【拡充】(★)	12	(1)産業財産権取得に対する補助件数	12件/年	23件/年	12件/年	1,347	産業財産権取得補助金の交付(4月～随時申請受付・交付)	◎ 2023年度の目標値12件を上回る23件を支援しました。これまで補助事業を利用したことのない事業者に対する周知を検討します。	
		13	(2)啓発事業(相談会・セミナー等)件数	5件/年	6件/年	5件/年	354	知財無料相談会(毎月第2木曜日、オンライン+対面相談受付) まちだキッズ発明体験教室(8月) 5者連携的財産セミナー(10月) 支援機関向け勉強会(10月・オンライン) 無料経営相談会(知財相談・11月) 高校生向け知的財産教育プログラム(2月) 知的財産権セミナー(3月・オンライン)	◎ 2021年度目標値4件を上回る6件のセミナーを開催しました。また、2021年度実施した「中小企業者対象知的財産等の活用に係る意向調査」の結果を踏まえ、2022年度以降実施予定の「自社以外が保有する産業財産権を活用した商品開発」の支援を検討します。	
		14	②環境変化に応じた商業事業者等の販売促進の支援【拡充】(★)	(1)新たな販売手法(キャッシュレス、EC関連等)に関するセミナーの実施件数	2件/年	4件/年	2件/年	200	商工会議所主催 ・SNS活用セミナー(7月) ・小規模事業者のためのデジタルはじめの一歩セミナー(8月) ・コロナ禍で売上を10割に戻した・動画を活用した営業策(10月) 市・商工会議所共催 ＜新型コロナウイルス感染症対応＞ コロナで変わる飲食店経営！繁盛請負人が教える次の一手！(7月)	◎ 新型コロナウイルス感染防止策として関心が高まっていたデジタル化について、デジタルに苦手意識をもつ事業者に対してデジタルの有効性、効果など、分かりやすい内容のセミナーを開催しました。また、コロナ禍で特に影響を受けた飲食店向けにセミナーを開催しました。2022年度以降も引き続き、事業者ニーズや社会環境の変化に応じたセミナーを開催します。
				(2)新たな販売手法の導入支援の実施	実施	実施	実施	510,167	町田商工会議所にてデジタルマンツーマン支援を実施(9月～3月)25件 ＜新型コロナウイルス感染症対応＞ キャッシュレス決済プレミアムポイント事業 町田市内の対象店舗において、キャッシュレス決済「PayPay」を行った消費者に対してプレミアムポイント(決済額の20%)を付与(6月1日～6月30日) 飲食事業者応援事業(デリバリー利用促進キャンペーン) 出前館と連携し、キャンペーンを実施(6～8月)。直近3ヶ月と比較して、注文件数は303% 飲食事業者応援事業(テイクアウト・デリバリー支援事業) 【第1弾(1店舗当たり5万円)】給付件数:578件 給付額:28,900千円、 【第2弾(1店舗当たり10万円)】給付件数:600件 給付額:60,000千円	○ 町田商工会議所では、デジタル化全般に苦手意識をもつ事業者に対して自身で目標設定を行い、その達成に向けて専門家とのマンツーマン支援を実施し、日本商工会議所から表彰を受けました。 ○ キャンペーンの実施により、キャッシュレス決済(スマートフォン等を利用したQRコード決済)の普及促進や、食事のテイクアウト、デリバリーを促進しました。2022年度以降は、引き続きキャッシュレス決済の促進や、その他新たな販売手法の導入支援の実施を検討します。
		16	③新しいビジネスモデルや新技術の導入に挑戦する事業者を支援【拡充】(★)	(1)新しいビジネス手法や新技術の導入に関する情報提供の実施件数	1件/年	1件/年	1件/年	30	セミナー等を通じ、新しいビジネス手法や新技術の導入に関する情報提供 XR(VR/AR等)の導入事例と活用ポイント(3月)	○ 2021年度のセミナーの参加者数は6名でした。2022年度以降は、関係機関との連携やヒアリングを行い、事業者や時代のニーズに合わせたテーマを設定する必要があります。
	(2)実証実験の支援件数			2件(累計)	9件(累計)	1件(累計)	9,627	新商品・新サービス開発事業補助金の拡充(商品開発経費を補助対象経費に追加) 補助金交付 申請(4月～5月)、交付決定(8月)	◎ 2021年度目標値6件の商品・サービスの開発及び実証実験を支援しました。2022年度は、引き続き補助事業の周知を図るとともに、補助事業者への継続支援を充実する必要があります。	
	18	①独自の「強み」を磨く取り組みをサポート	(1)新商品・サービスの認定件数(トライアル発注認定件数)	48件(累計)	44件(累計)	29件(累計)	1,030	トライアル発注認定商品の認定(8月) 申請(4月～5月)	◎ 2021年度累計目標値40件を上回る44件を認定しました。引き続き認定事業の周知を図るとともに、認定事業者への継続支援や非認定事業者へのフォローを検討する必要があります。	
			(2)ビジネスアドバイザー等の派遣を活用した延べ事業者数	9件(累計)	3件(累計)	9件(累計)	165	トライアル発注認定事業者に対し、東京都中小企業振興公社「ニューマーケット開拓支援事業」への推薦 2件 販路拡大等に向けたビジネスアドバイザー派遣 1件	△ 2021年度新たなトライアル発注認定事業者に対し、東京都中小企業振興公社「ニューマーケット開拓支援事業」やアドバイザー派遣支援の案内を行い、3件の支援を行いました。2022年度も引き続き認定事業者への案内を行います。	
	20	②町田の特色や強みを生かした商品・サービスの開発、ブランド化の促進【継続】	(1)まちだ名産品のれん会のイベント出店件数	15件	2件	9件	0	紅葉祭り(11月) まちだイモノOごと祭(12月)	△ 2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、イベント自体の開催が、少なく出店件数が伸びませんでした。2022年度は、感染状況を見ながら、ずっとできていなかった全体での名産品販売会を開催いたします。	
			(2)町田市私の好きなお店大賞受賞店舗数	110件(累計)	91件(累計)	66件(累計)	600	受賞店舗数 2件 投票(11月1日～12月31日)、審査会・受賞店舗決定(1、2月)、表彰式(3月)	◎ 2021年度は、2020年度と比較して1店舗少ない、2店舗を選出しました。地域サイトへの広告掲載による認知度の向上や、投票者へ抽選で商品券を進呈したこともあり、投票数自体は増加傾向にあります。2022年度は、地域ブランドを残しながら引き続き投票者を集め、魅力あふれる店舗の選出を進めます。	
			(3)まちだシルクメロンを活用した認定商品数	15件(累計)	13件(累計)	9件(累計)	0	申請がなかったため、認定審査会は未実施。	◎ 2021年度認定はありませんでした。2022年度以降については、引き続き、事業PRを行い、申請者数の増加を図ります。	
	23	③営業支援や展示会出展支援を通じた販路拡大の促進【拡充】	(1)各種見本市・展示会等出展支援件数	20件/年	18件/年	20件/年	3,962	産業見本市出展補助金の拡充(オンライン見本市を対象事業に追加、コンテンツ作成費を対象経費に追加、補助上限金額を増額) 補助金交付 申請受付・交付(4月～随時)	△ 2021年度は新たにコンテンツ作成費を補助対象経費に追加し、7件コンテンツ作成費を補助しました。2022年度は、これまで補助事業を利用したことのない事業者に対する周知を検討します。	
			(2)ビジネスアドバイザー等の派遣を活用した延べ事業者数【再掲】	9件(累計)	3件(累計)	5件(累計)	165	トライアル発注認定事業者に対し、東京都中小企業振興公社「ニューマーケット開拓支援事業」への推薦 2件 販路拡大等に向けたビジネスアドバイザー派遣 1件	△ 2021年度新たなトライアル発注認定事業者に対し、東京都中小企業振興公社「ニューマーケット開拓支援事業」やアドバイザー派遣支援の案内を行い、3件の支援を行いました。2022年度も引き続き認定事業者への案内を行います。	
	25	①異業種・異分野との連携による新たな価値の創出【継続】	(1)交流会の開催回数	8件/年	5件/年	8件/年	0	まちだイチオン市場展示会(3月) まちだ未来ビジネスアイデアコンテスト(2月) MachiBiz2021(10月) 広域ビジネス交流会(町田・相模原・八王子共催・3月) 町田商工会議所 会員交流会(3月) ※南西フォーラム開催見合せ	△ 2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのイベントが中止となりましたが、オンラインで開催するなど手法を検討して実施しました。2022年度以降も、感染症の状況を確認しながら、実施していきます。	
(1)連携により、事業化・商品化された件数			44件	25件	26件	0	交流会やマッチング会を通じた事業化・商品化の推進 連携希望の事業者に対して、個別に連携を支援 農工商連携 0件、ビジコン 0件、知財マッチング 0件	△ 2021年度は、農工商連携、ビジネスアイデアコンテスト、知財マッチングによる新規商品の開発はありませんでした。2022年度以降は、農工商連携については引き続き、連携希望の事業者に対して、個別に支援を実施します。		
26	②連携による新たな価値の創出に関する支援【拡充】(★)	(1)連携により、事業化・商品化された件数	44件	25件	26件	0	交流会やマッチング会を通じた事業化・商品化の推進 連携希望の事業者に対して、個別に連携を支援 農工商連携 0件、ビジコン 0件、知財マッチング 0件	△ 2021年度は、農工商連携、ビジネスアイデアコンテスト、知財マッチングによる新規商品の開発はありませんでした。2022年度以降は、農工商連携については引き続き、連携希望の事業者に対して、個別に支援を実施します。		

※凡例  
【評価】  
◎予定以上に進んでいる  
○予定通りに進んでいる  
△予定通りに進んでいない

施策	個別施策名	項番	指標	目標値 (2023年度)	達成状況 (2021年度末)	2021年度			総括(2021年度の評価の要因及び2022年度以降の課題)
						達成目標	市の事業費 (千円)	取り組み内容	
3 「つながり」チャレンジ	(1)安定した事業継続をサポート	①コスト削減や売り上げ向上の取り組みを支援【継続】	(1)町田商工会議所経営指導員の巡回・窓口相談件数	3,200件/年	3,518件/年	3,200件/年	1,800	3,518件(窓口3,017件、巡回501件)	◎ 2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、事業復活支援を始め補助金・助成金の相談が増えたため、目標を上回っています。2022年度以降も引き続き、事業者への相談に対応します。
			(2)町田商工会議所経営講座の受講者数	900人/年	479人/年	900人/年	1,200	集団講座319人・全19回(定員の削減、ハイブリッド形式で実施) 個別講座160人・全20回 <新型コロナウイルス感染症対応> ウェブセミナー 登録事業所 38事業所、視聴回数 2,753回	△ 2021年度も新型コロナウイルス対策として、集団講座の定員を90名から30名に変更したこともあり、目標を下回っています。2022年度以降についても、引き続き、経営者が抱える問題の解決につながる講座を開催し、受講者の増加を図ります。
		②業務の効率化・生産性向上を促進【拡充】	(1)クラウド会計導入支援件数	20件(累計)	19件(累計)	12件(累計)	0	2019年度 8件、2020年度 3件、2021年度 1件	◎ 2021年度は、1件導入し、2023年度の目標値を達成しました。2022年度以降についても、引き続き、導入支援を行います。
			(2)「先端設備等導入計画」認定件数	120件(累計)	57件(累計)	72件(累計)	なし	広報まちだや会議所ニュース、個別事業者への案内等の周知をより一層推進	△ 2021年度は、新規認定は10件となり、2020年度の2件と比較して増加しましたが、2021年度時点の累計目標値120件を大きく下回る57件となりました。当初2020年度末までとなっていた固定資産税をゼロとする特例の適用期間が2022年度末まで延長となったため、引き続き制度の周知を行います。
		③事業継続の課題解決に向けた取り組みを支援【拡充】	(1)町田商工会議所専門相談の相談者数	80人/年	87人/年	80人/年	2,800	労務(社労士)15人、税務(税理士)17人、登記・許認可(司法書士・行政書士)9人、法律(弁護士)31人、特許(弁理士)2人、経営・金融(中小企業診断士)13人	○ 2021年度は、目標を上回る87人の相談がありました。引き続きニーズが高い専門相談に対応するため、2022年度以降も、事業者の課題解決に向けて積極的に支援を行います。
			(2)危機管理対策に関するセミナー・ワークショップ等の実施件数	1件/年	1件/年	1件/年	0	BCP(事業継続計画)セミナー(11月)8名 <新型コロナウイルス感染症対応> 中小企業者家賃補助事業 【第3弾】補助件数 2,353件、補助事業所数 2,853件、補助交付額 287,086千円 【第4弾】補助件数 2,275件、補助事業所数 2,726件、補助交付額 271,135千円	○ 2021年度はセミナーを開催しました。2022年度以降については、BCPだけではなく、危機管理対策として、サイバーセキュリティに関するセミナーを開催します。
	(2)次代を担う人を育てる	①将来を担う人材の確保を支援【拡充】(★)	(1)健康経営に関する情報提供の実施	1回/年	1回/年	1回/年	0	健康経営について商工会議所情報誌への記事掲載	○ 健康経営という言葉は少しずつ浸透してきていますが、定期的に周知や啓蒙活動を行う必要があります。コロナ禍によりセミナーは開催できませんでしたが、会議所情報誌で、事業所の事例などを周知しました。2022年度も継続的に進めていきます。
			(2)人材確保・定着に向けた新しい支援策の実施	実施	実施	実施	0	就職面接会in町田(2月) 町田商工会議所において、公益財団法人産業雇用安定センターと提携して、雇用過剰となった企業と人手不足等の企業との間で雇用シェア(在籍型出向)等を活用する場合には、双方の企業に対して出向等のマッチングを行う支援を行うとともに、その周知PRを実施。	○ 2021年度は感染症対策を取りながら対面による就職面接会を実施しました。2022年度は就職面接会in町田を8月に開催します。また、ハローワーク町田等の関係機関と新たな取り組みを検討しています。2021年度は商工会議所情報誌を通じてマッチング支援の周知PRを実施し、11月4日に開催した連携報告会で活動状況について確認を行いました。2022年度以降も引き続きマッチング支援を行います。
		②人材育成やキャリア形成に関する支援【継続】	(1)キャリア形成・人材育成研修の開催回数	1回/年	1回/年	1回/年	0	新入社員研修(4月)7事業所21名、4事業所9名(オンライン)	○ 2021年度は感染症対策を行い開催しました。2022年度以降も中小事業所のニーズに合わせた内容で実施します。
			(2)後継者育成に向けたセミナー等の開催	1回/年	1回/年	1回/年	0	町田商工会議所においてMachiBiz2021～まちだみらい会議～(10月)71名 テーマ「町田から世界へ」講師(株)サイバーエージェント 代表取締役 藤田 晋 氏	○ 2021年度は、ハイブリッド形式でセミナーを実施しました。2022年度以降についても引き続き、後継者育成を目的とした活動を行います。
	(3)円滑な事業承継を推進	①事業承継に対する早期の対策の促進【拡充】(★)	(1)事業承継セミナー開催件数	4回/年	1回/年	1件/年	0	事業承継関係者勉強会を実施(3月)	○ 2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を下回りました。2022年度は、セミナーの開催方法等を検討し、事業者への情報提供を行っていきます。
			(2)事業承継支援に関する一括した情報発信	実施	実施	実施	116	広報まちだ、市HP、商工会議所NEWS等で、事業承継補助金等支援内容の発信	○ 2021年度は、各広報媒体にて支援に関する周知を行いました。2022年度以降についても、引き続き広報を行うとともに、支援必要とする市内事業者に対する周知方法を検討します。
②事業承継や後継者育成に関するニーズに応じた支援【拡充】(★)		(1)支援ネットワークの構築	構築完了	構築完了	構築完了	0	ネットワーク情報交換会をオンラインで実施(6月・1月)	○ 2022年度以降についても、引き続き、ネットワーク構成機関の情報交換会を実施し、情報共有等を行います。	
		(2)後継者育成に向けたセミナー等の開催【再掲】	1回/年	1回/年	1件/年	0	町田商工会議所においてMachiBiz2021～まちだみらい会議～(10月)71名 テーマ「町田から世界へ」講師(株)サイバーエージェント 代表取締役 藤田 晋 氏	○ 2021年度は、ハイブリッド形式でセミナーを実施しました。2022年度以降についても引き続き、後継者育成を目的とした活動を行います。	
③事業承継マッチングや事業承継手続きに関する支援【拡充】(★)		(1)市融資制度の事業承継メニュー活用件数	10件(累計)	25件(累計)	6件(累計)	130,000	従業員承継1件	◎ 事業承継資金の利用は、2021年度は1件となり、年間の目標値を下回りました。引き続き、金融機関やセミナー等で周知を行う必要があります。	
		(2)ネットワークによる市内事業者の事業承継マッチング件数	12件(累計)	24件(累計)	7件(累計)	1,000	2021年度実績14件	◎ 2021年度は、14件のマッチングを支援し、2023年度の目標値を達成しました。2022年度以降については、引き続き、ネットワークによる連携を強化し支援に取り組めます。	

※凡例  
【評価】  
◎予定以上に進んでいる  
○予定通りに進んでいる  
△予定通りに進んでいない

施策	個別施策名	項番	指標	目標値 (2023年度)	達成状況 (2021年度末)	2021年度			総括(2021年度の評価の要因及び2022年度以降の課題)	
						達成目標	市の事業費 (千円)	取り組み内容		
4 ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり	(1)働きやすいまちづくりの推進	①多様な働き方を実現するための環境づくり【拡充】(★)	(1)働き方に関するセミナー等の実施回数(市内開催)	20回(累計)	12回(累計)	12回(累計)	0	シニア生涯ワーキングセミナー(7月、10月、3月) 育休パパ・ママの職場復帰セミナー(10月)	○	2021年度はシニア向けの働き方に関するセミナーを3回開催するとともに、育休明けの職場復帰を促すセミナーを1回開催しました。2022年度も引き続き4回程度実施します。
			(2)シェアオフィス等の立地件数	2件(累計)	2件(累計)	1件(累計)	0	町田市中心市街地活性化奨励制度は、市ホームページやパンフレットで周知	◎	目標値である2件の立地を達成していますが、引き続き、町田市中心市街地活性化奨励制度の周知を図る必要があります。
		②心地よく働き続けることができる環境づくり【継続】	(1)町田市勤労者福祉サービスセンター会員事業所数	930事業所	799事業所	930事業所	21,000	加入促進キャンペーン(7月～9月、1月～3月) 武装新聞への広告掲載、タウンニュースweb版へ広告掲載、町田商工会議所NEWS裏表紙への広告掲載、町田市民ホール「コンサートガイド」への広告掲載、未加入事業所へのDM	△	加入促進キャンペーン等を実施したものの、会員事業所数は減少傾向にあります。2022年度は新型コロナウイルス感染症対応として、勤労者福祉サービスセンター会員サービス向上事業(新型コロナ対策)を実施します。
	(2)「選ばれるまち」としての魅力を高める	①事業者サポート体制の充実【拡充】(★)	(1)事業者サポート体制の構築に向けた調査・検討	方向性の決定	方向性の決定	—	2,500	「町田市産業支援施設複合化基本計画」を策定	○	2021年度は、「町田市産業支援施設複合化基本計画」を策定し、候補地は、町田新産業創造センターの現有地とすることを決定しました。2022年度は、民間活力導入可能性調査を実施する必要があります。
			②多様な資金調達の支援【拡充】	(1)市融資制度の事業承継メニュー活用件数【再掲】	10件(累計)	1件/年 25件(累計)	6件(累計)	130,000	従業員承継1件	◎
		③市内におけるオフィスや工場の新設・規模拡大を支援【継続】	(2)クラウドファンディングの支援件数【再掲】	10件(累計)	1件/年 8件(累計)	6件(累計)	0	町田新産業創造センターの支援により、1件実行	◎	相談件数に減少傾向が見られたことから、クラウドファンディング普及啓発のためオンラインセミナーを実施、24名が参加しました。引き続き、セミナー等を継続的に開催し、普及啓発や、町田新産業創造センターによる支援の周知徹底を図ることで支援件数の増加につなげます。
			(1)企業等立地件数	10事業者(累計)	2事業者(累計)	6事業者(累計)	917	指定済みの1事業者に対し奨励金を交付 東京都企業立地相談センターと連携した情報発信、情報交換を実施	△	2021年度は制度に関する問い合わせはあったものの、新規立地には至りませんでした。引き続き、東京都企業立地相談センター等と連携しながら、奨励金制度の周知を図ります。
		④町田の特色や強みを生かした事業者の集積を促進【拡充】(★)	(1)シェアオフィス等の立地件数【再掲】	2件(累計)	5件/年 7件(累計)	1件(累計)	0	町田市中心市街地活性化奨励制度は、引き続き、市ホームページやパンフレットで周知	◎	目標値である2件の立地を達成していますが、引き続き、町田市中心市街地活性化奨励制度の周知を図る必要があります。
		⑤町田で働く魅力の発信【拡充】(★)	(1)子どもや学生を対象とした職業体験等の実施回数	4回/年	12回/年	4回/年	1,380	・まちだキッズアントレプレナープログラム 6回 AI教室(7/25 午前・午後) 発明教室(8/1) マネー教室(8/8 午前・午後) 起業塾 (8/17～8/19) ・中学生向け職場体験(11/26) ・まちだ未来ビジネスアイデアコンテスト 3回 ビジネスアイデア作成セミナー(10/31、11/13) 最終審査会(2/19) ・高校生向けセミナー (2/5) ・インターンシップ受け入れ(2月)	◎	中学生向け職場体験を初めて実施し、コロナ禍の中で中断していたインターンシップ受入再開もあって、小学生から大学生まで全ての年代へのアプローチができました。ただし、その一方で、内容別に検証すると、まちだキッズアントレプレナープログラムの関しては、発明教室での座学の理解度の差、起業塾での参加者の意欲の差からグループワークの体を為していないなどの課題が見られました。また、ビジネスプランコンテストに関しても、アイデアの事業化が進まずイベントで終わっているなどの課題も見られました。両事業については事業内容を見直す必要があります。
	(2)職住近接等、町田で働く魅力のPR		実施	実施	実施	0	就職面接会in町田(2月)	○	2021年度は感染症対策を取りながら対面による就職面接会を実施しました。2022年度は就職面接会in町田を8月に開催します。	
	⑥産業支援に関する有効な情報発信【拡充】(★)	(1)事業者ニーズに即した情報発信の仕組みの構築	構築	構築	構築	0	「よい仕事おこしネットワーク」を活用した情報発信を実施	○	「よい仕事おこしネットワーク」を通じ、町田市の情報を発信することができました。今後も引き続き、町田市の様々なイベント情報等を発信、周知する必要があります。	
	(3)まちの賑わいを生み出す	①コト・トキ・モノ消費を楽しむことができる「商店街」の育成支援【拡充】	(1)商店会のイベント・活性化事業数	46件/年	19件	46件/年	53,204	32件(イベント30件、活性化事業1件、地域連携事業1件)に交付決定を行い、中止となった13件を除く、19件(イベント18件、活性化事業1件)実施	△	2021年度は、新型コロナウイルスの影響感染症の影響により、イベント等の中止があり、目標を下回りました。2022年度以降については、引き続き、商店会への支援を実施します。
(2)商店会に専門家を派遣した案件数			60件(累計)	3件/年 53件(累計)	36件(累計)	1,000	2019年度 14件、2020年度 8件、2021年度 3件	◎	2021年度は、3商店会への支援を実施しました。2022年度以降については、引き続き、商店会への利用を呼び掛ける必要があります。	
②町田の産業の魅力発信【継続】		(1)イベント(「キラリ☆まちだ祭」等)の来場者数	150,000人/年	0人	0人	0	キラリ☆まちだ祭2021は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	△	2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度に引き続き中止となりました。	